

# 経営戦略(概要版)

広島県 三次市 (平成28年4月1日現在 (料金は平成29年4月1日使用分から))

業務名	業種名	事業名	給水開始年度 (旧三次市エリア)	給水開始年度 (旧簡水エリア)
法適用	水道事業	末端給水事業	昭和42年度	昭和29年度
行政区内人口 (人) : A	給水人口 (人) : B	普及率 : B/A (%)	1か月20m3当たり家事用料金(円) (20mmメーター使用料含む。税込) (旧三次市エリア)	1か月20m3当たり家事用料金(円) (20mmメーター使用料含む。税込) (旧簡水エリア)
54,324	47,534	87.5	3,646	4,654

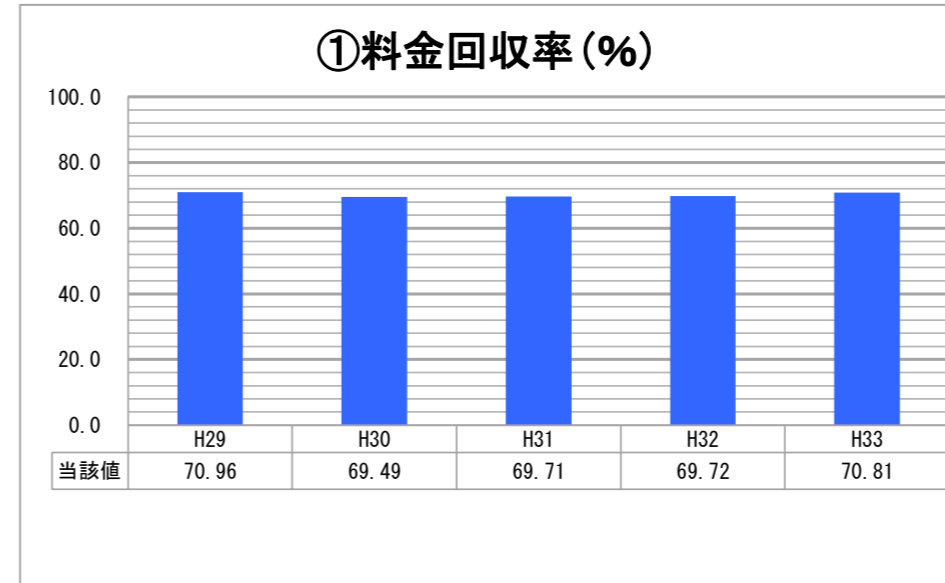
## 1. 現状

### <施設>

平成28年4月1日現在

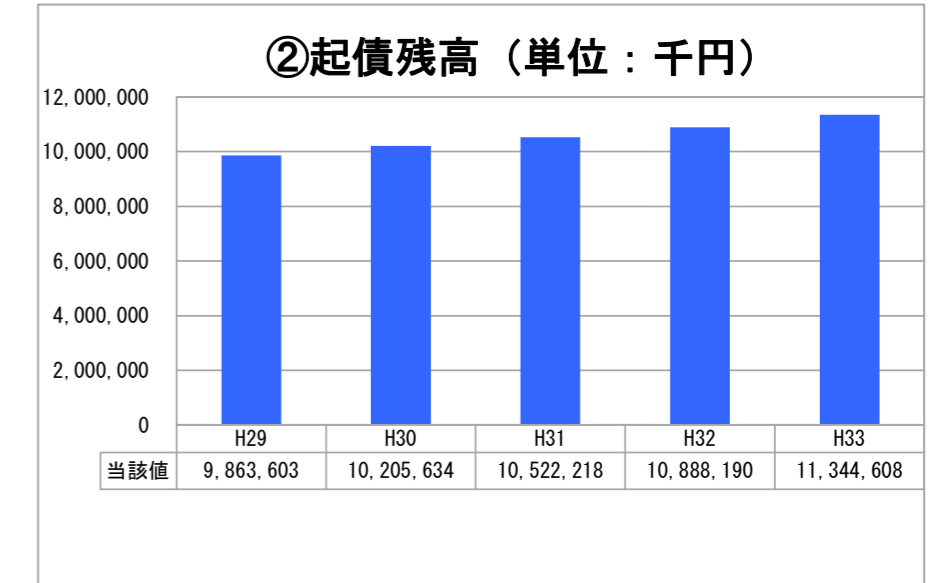
事業エリア	給水開始年月	浄水場数	浄水能力 (m <sup>3</sup> /日)
旧三次市	S43.3	2	17,500
甲奴町	S30.3	2	759
君田町	H9.4	2	840
布野町	H2.10	1	650
作木町	S54.12	3	418
吉舎町	S30.8	6	1,772
三良坂町	S31.10	4	1,623
三和町	S47.4	5	912
配水池 64箇所			
管路延長 830km			

### <経営指標>



「料金回収率」 (見込み)

料金回収率 = 供給単価 / 給水原価



「起債残高」

## 2. 課題

### <未供用の計画給水区域の対応>

・未施工の計画給水区域をどうするべきか。

### <将来の収入見込み>

・給水人口・水需要の減少

人口の減少に伴う給水人口の減少, 節水意識の向上や節水器具の普及による水需要の減少で, 今後も給水収益の増加が見込めない。

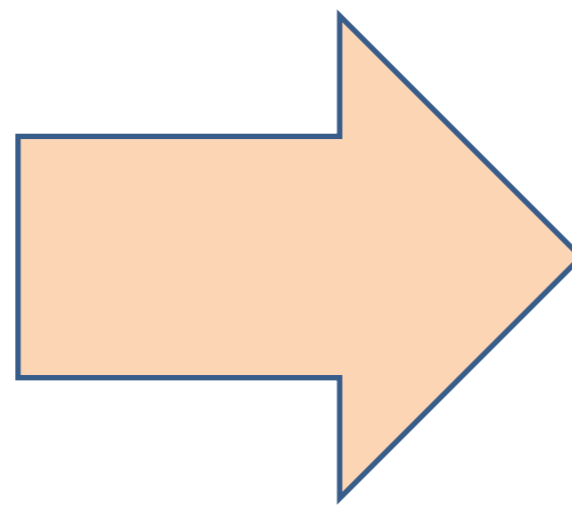
・接続率の低い地区がある。

### <維持管理コスト, 更新コストの増加>

・施設, 管の老朽化により, 今後, 維持管理コスト, 更新コストの増加が見込まれる。

### <料金回収率>

・旧三次市エリアの料金改定を実施したが, 依然として給水原価と供給単価の差分である販売損が生じている。



## 3. 経営の基本方針 (平成29年度~平成38年度)

### <安全で快適に暮らせる生活環境づくり (第2次三次市総合計画)>

- 1 安全で安心な水道水の安定供給
- 2 施設の統合等, 健全な公営企業経営の推進
- 3 予防保全を基軸とする社会資本の戦略的な維持管理・更新

### <簡水統合後の整備方針>

1 経営を考慮した計画給水区域の整備と旧三次市エリア・旧簡水エリアとの連絡管の整備。平成29年度に整備計画を作成する。

### <簡水統合後の維持管理方針 (マスタースケジュール)>

#### 1 期間

国の財政支援期間に合わせ, 10年で経営の改善を行う。

#### 2 水道局の取組

##### ①有収率の向上

これまでの漏水調査方法に他の調査方法を併用して調査を行う。

##### ②接続率の向上

接続率の低い地区に対し, より強い加入促進活動を行う。

##### ③簡水統合を踏まえた経営の効率化

効率的な更新計画を作成し, 施設の統廃合や更新を進める。

##### ④経営状況の再検証

3年経過毎に再検証を行う。